

新生奈良トヨタ未来プロジェクト 中間報告会

2021年5月26日(水)
奈良トヨタ(株)奈良本社



NARA
TOYOTA GROUP

「新生奈良トヨタ未来プロジェクト」について

《目的》

◆若手、中堅社員より選出したメンバーにて、今後の環境変化の中でも奈良トヨタをより強固にしていくため目指したい姿や実現したい施策を議論・研究することで

1. 奈良トヨタの目指すべき姿の提言

2. 実現したい施策を取り決め、具体的に実行に移す



NARA
TOYOTA GROUP

プロジェクトメンバー

《メンバー 9名(アドバイザー含む)》

◆奈良トヨタ(株)

・総務部 マネジメントグループ	高野 遥平	係長	(34歳)
・サービス部 サービス業務課	菊岡 倫行	係長	(37歳)
・トヨタ営業部 CS室	大倉絵理子	主任	(35歳)
・奈良店 販売課	谷本 達哉	主任	(35歳)
・JR奈良駅前店 サービス課	窪 英登	主任	(36歳)
・田原本店 販売課	中本 雅規	主任	(32歳)

◆アドバイザー

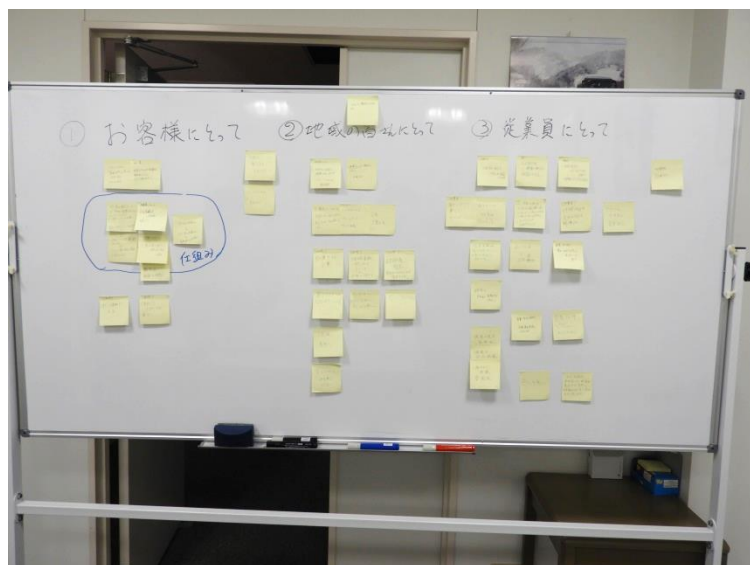
・奈良トヨタ(株)	小南 敏美	常務取締役
・奈良トヨタ(株)	西島 寛	執行役員
・奈良トヨタ(株) 総務部	大神 昌之	課長



これまでの活動実績



- 2021年1月29日
キックオフミーティング
- 2021年5月26日
提言集 中間報告会
- 2021年8月 日
提言集 最終報告会(予定)
- この間月2回のペースで
合計11回の定例MTを開催



NARA
TOYOTA GROUP

今後10年間に想定される環境変化について

	現在	将来
内部	・合併による新生“奈良トヨタ”誕生	想定される環境変化 に対応していくことが 重要！
外部	・全車種併売化 ・新型コロナウイルス ・デジタルトランスフォーメーション	・人口減によるマーケット縮小 ・新しいモビリティサービスの普及 ・カーボンニュートラル

未来に目指したい“奈良トヨタ”の姿

“奈良トヨタ”はどんな会社？

お客様にとって

- ・**気軽に来店**できる店舗づくり
- ・**クルマのこと以外**でも「奈良トヨタ」と思ってもらいたい

地域にとって

- ・様々な**地域貢献**ができる企業
- ・地域ぐるみで**共に活性化**できる企業

従業員にとって

- ・働きがいのある会社、**愛社精神**が高い
- ・**新しいチャレンジ**に常に取り組んでいる



NARA
TOYOTA GROUP

新生奈良トヨタ未来プロジェクト実施項目案

項目①「新生“奈良トヨタ”を広く周知する」

項目②「お客様に更に親しみを持ってもらう」

項目③「地域との連携強化」

項目④「愛社精神を高めるために」

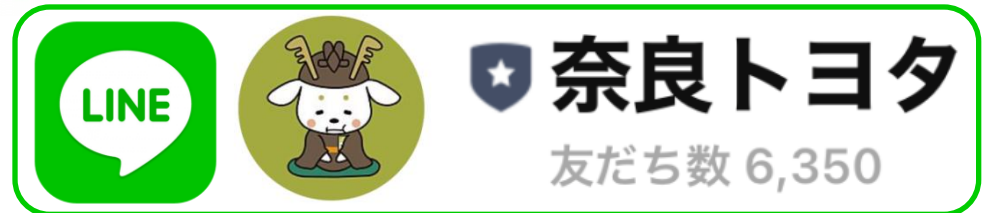
項目⑤「デジタル化の促進による業務効率化」

項目① 「新生“奈良トヨタ”を広く周知する」

・奈良トヨタyoutube



・奈良トヨタLINE



チャンネル登録・お友達登録してますか？

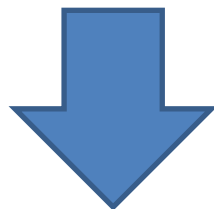
項目① 「新生“奈良トヨタ”を広く周知する」

- ・2021年レストアミュージアム、モビリティ香芝OPEN
webツールを用いた効果的な宣伝



項目② 「お客様に更に親しみを持ってもらう」

- ・奈良トヨタ自動車から「自動車」が無くなりました



自動車以外のことでも奈良トヨタに来て頂ける
店舗づくり・イベントが必要

項目② 「お客様に更に親しみを持ってもらおう」

SNS映えスポット



#奈良トヨタ
#トヨ太子

項目② 「お客様に更に親しみを持ってもらおう」

子供をターゲットにファミリー層の取り込み



レストア体験教室
親子ものづくり

項目③ 「地域との連携強化」

- ・「奈良」の強みを生かした寺社や地域のお店とのタイアップ企画



項目③ 「地域との連携強化」

・各店舗主体で地元名産品とのコラボ企画



項目④ 「愛社精神を高めるために」

- ・愛社精神とは？

⇒ やりがい・会社を良くしたい思い

- ・社員同士が絆を深めるコミュニケーションの場を提供



項目⑤ 「デジタル化の促進による業務効率化」

・ITツールの積極的な活用



実際にやってみましょう！

ご清聴ありがとうございました



今後もメンバー内で議論を深め、
“新生奈良トヨタ”をいっそう盛り上げて
いきたいと思っております

【資料】 改めて合併の意味を考える(抜粋資料)

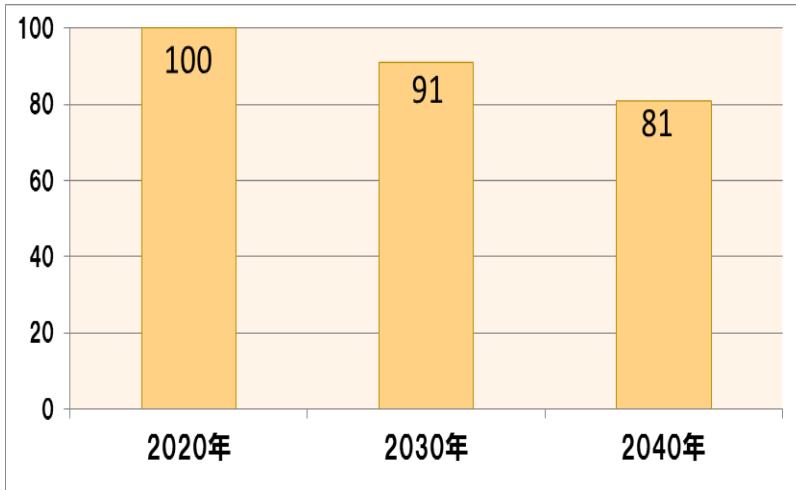
合併の目的

トヨタ販売店の全車種併売化、少子高齢化による人口減少や CASE と言われる自動車の技術革新の急速な進展などによる市場環境の変化等、自動車販売を取り巻く環境は急速に激しく変化をしております。

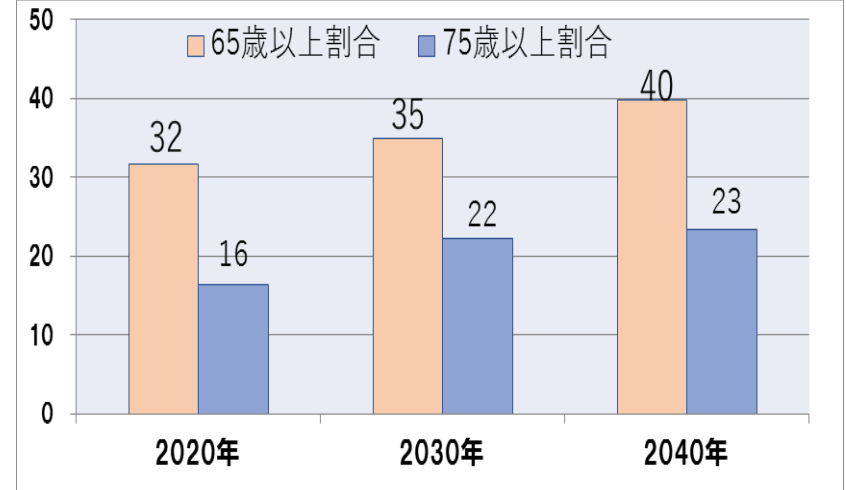
そのような中、当グループにおきましても、お客様サービスの充実やお客様満足の向上などに努めるとともに、働き方改革や業務効率化による生産性向上などで経営基盤の強化を図って参りました。今後は更なる将来を見据え、グループ内車両販売会社を統合し、グループの経営資源の有効活用により経営基盤を再強化すると同時に、県内広範をカバーする店舗網を構築し、地域毎のニーズにあわせたきめ細かなお客様サービスを提供することが、環境変化の激しい時代の中で生き残っていくには必要不可欠と考え、今回合併することに致しました。

【資料】 奈良県 人口推移

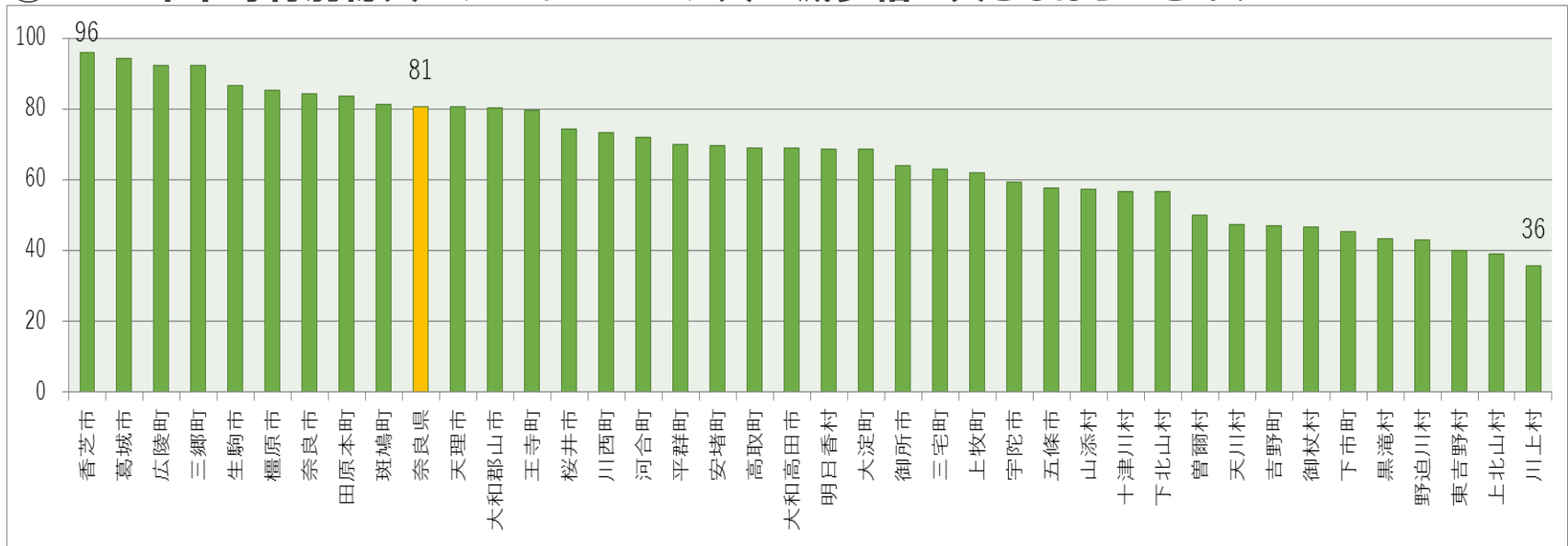
①総人口(2020年を100として):10年ごとに約10%ずつ減少



②65歳以上割合:2040年には約40%まで上昇



③2040年市町村別総人口(2020年を100として):人口減少幅に大きなばらつきあり



【資料】 デジタルトランスメーション

広義のデジタルトランスフォーメーション(DX)の意味

デジタルトランスフォーメーション(DX)とは、スウェーデンのウメオ大学教授エリック・ストルターマン氏が2004年に提唱した概念「デジタル技術が浸透することで人間の生活のあらゆる面で引き起こす、あるいは良い影響を与える変化」

経済産業省の定義

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

デジタル化への3段階

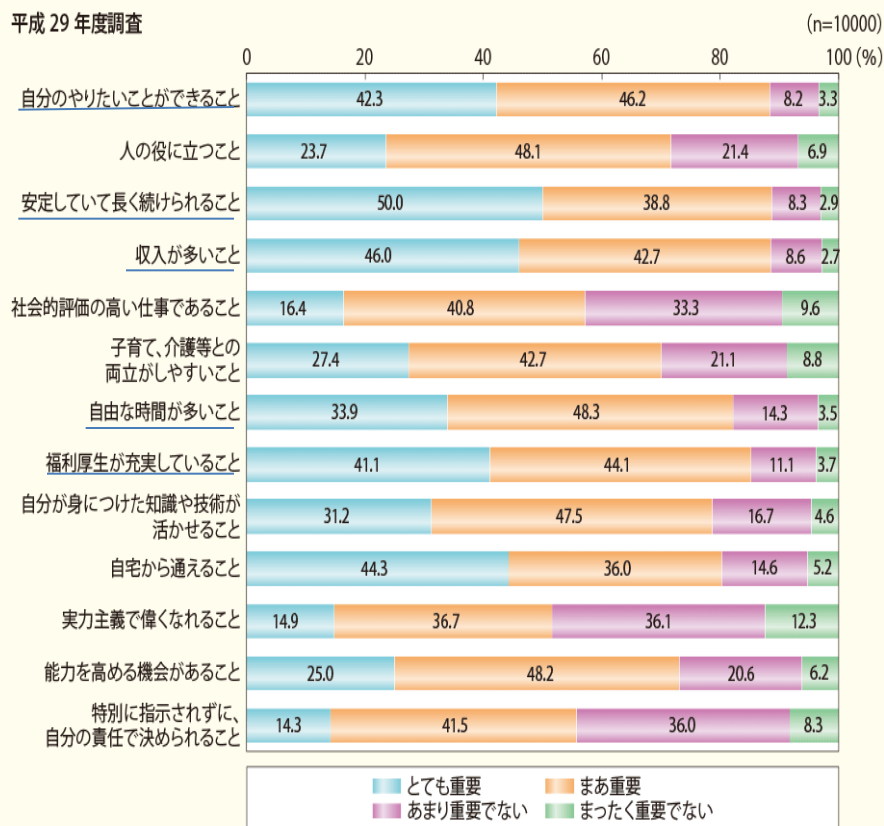


【資料】 愛社精神とは

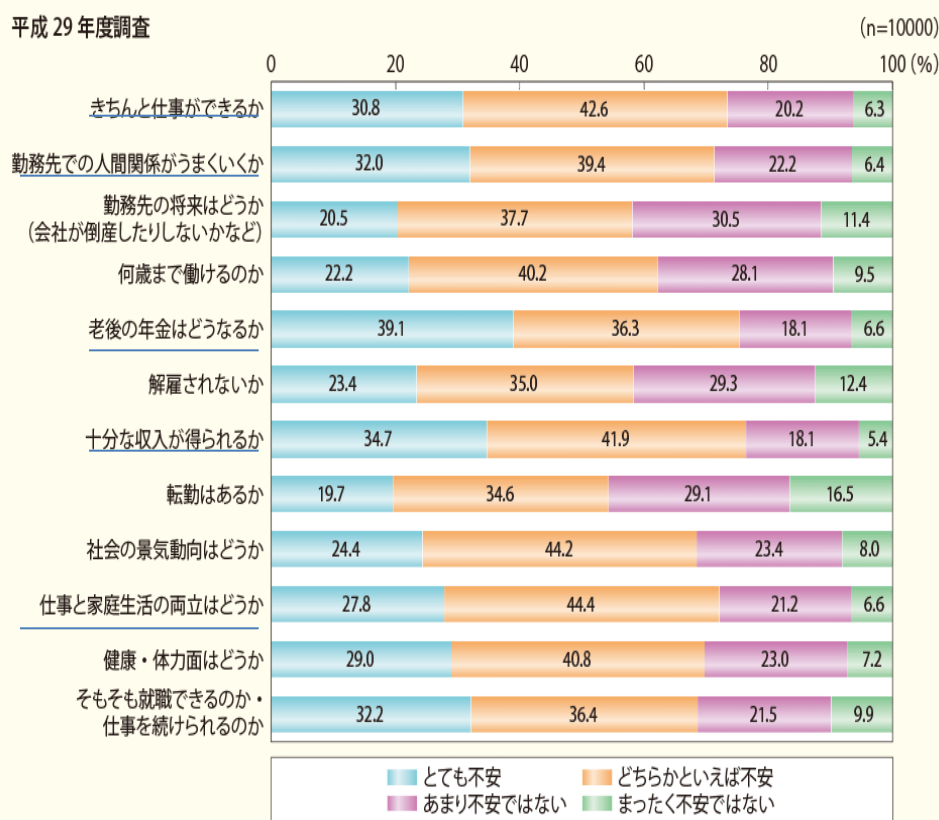
- ・愛社精神とは、従業員が自分の勤めている会社を愛する気持ち
 - －会社や自分の仕事にやりがいや満足感を感じており、もっと会社を良くしたい、成長させたいという思い

【資料】 就労等に関する若者の意識 対象：16歳から29歳までの男女

図表6 仕事を選択する際に重要視する観点



図表10 働くことに関する不安

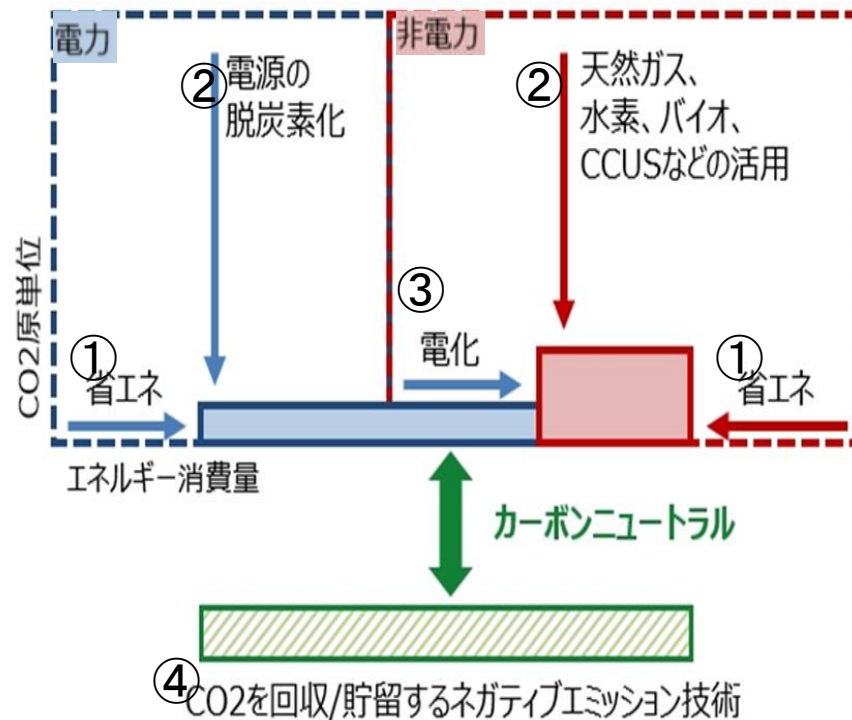
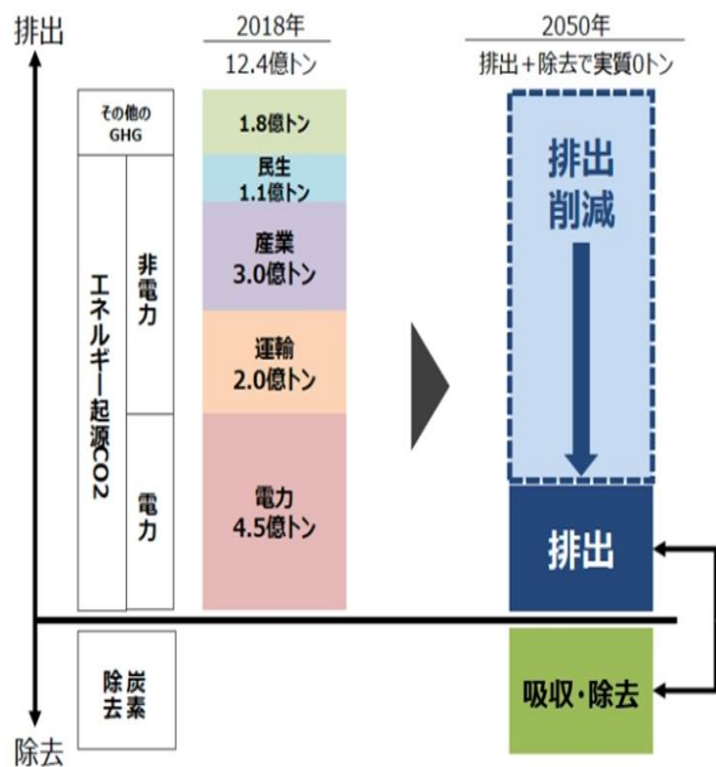


【資料】カーボンニュートラル①

日本が目指す「カーボンニュートラル」とは、「温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」ことを意味

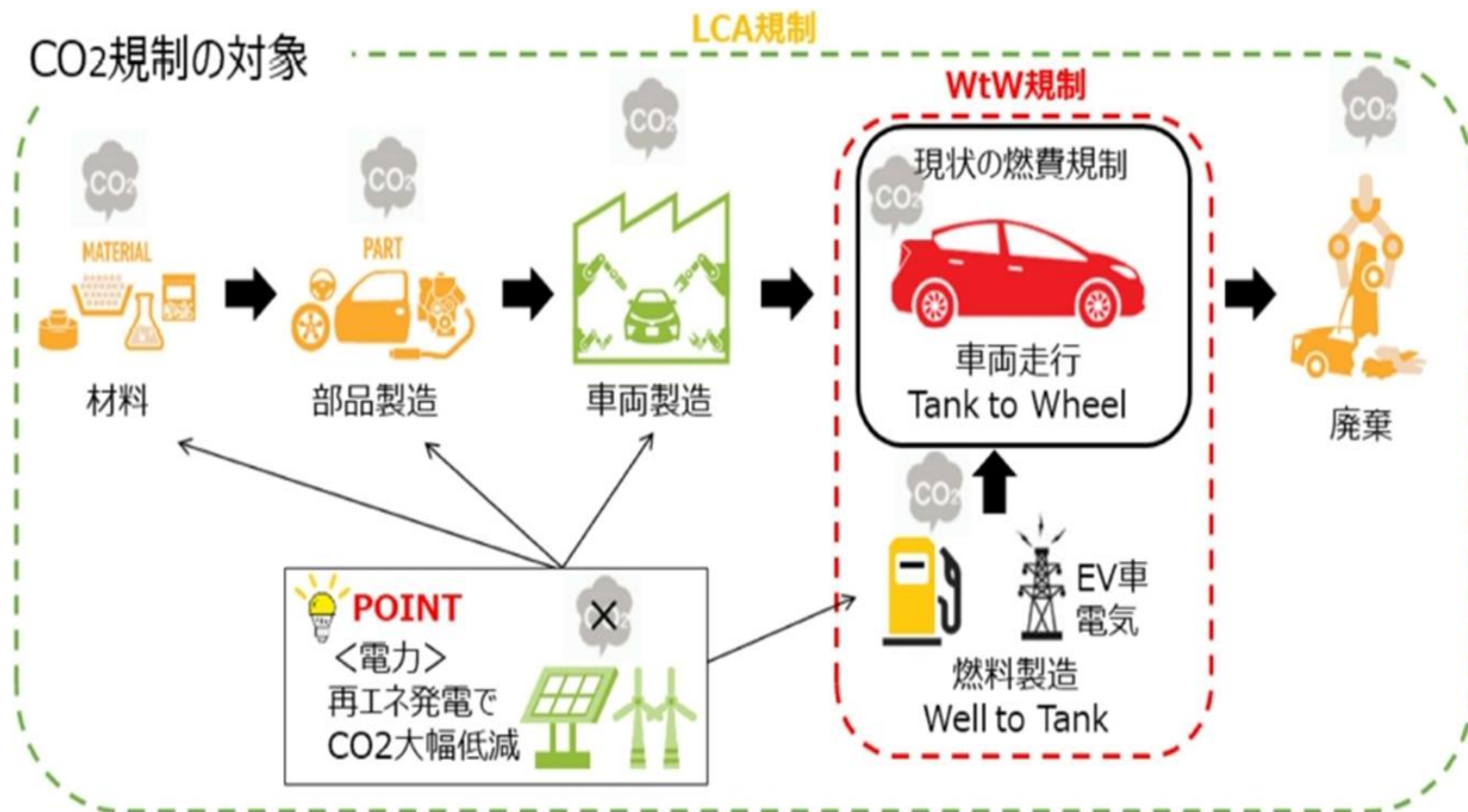
- ①省エネルギー・エネルギー効率の向上
- ②一定量のエネルギーをつくる場合のCO2排出量の低減(電源の再エネ化、燃料の低炭素化)
- ③非電力部門の電化
- ④ネガティブエミッション

上記取組を組み合わせ、トータルでのカーボンニュートラルを目指すことが重要



【資料】カーボンニュートラル②

- ①カーボンニュートラルには、すべての段階で発生するCO₂をゼロにする必要
- ②カーボンフリー電力がポイント



【資料】 SDGs

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



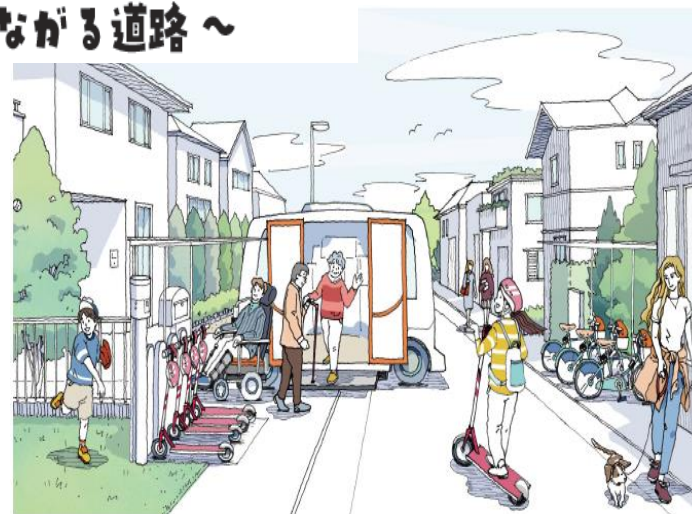
【資料】 2040年、道路の景色が変わる

2040年、道路の景色が変わる

～人々の幸せにつながる道路～



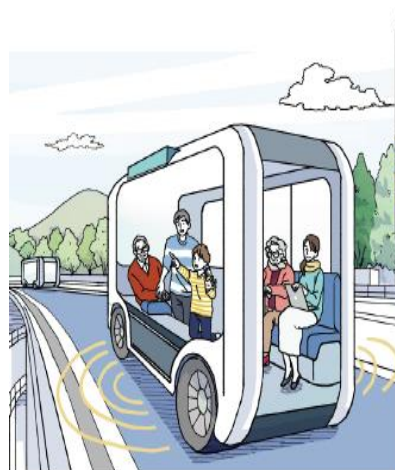
様々な交通モードの接続・乗り換え拠点（モビリティ・ハブ）



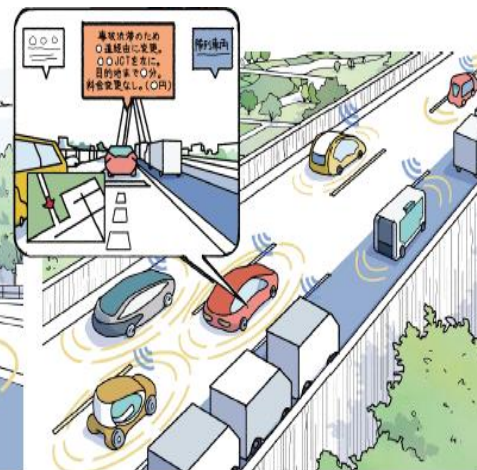
マイカーを持たなくても便利に安心して移動できるモビリティサービス



ロボット配送によりラストマイル輸送を自動化・省力化



幹線道路ネットワークに
設置された自動運転車の専用道



道路インフラがコネクテッドカーを
最適経路に案内